

令和6年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和6年7月11日	場所	名護特別支援学校ランチルーム	出席 状況	評議員4名、校長、教頭、事務長 学部主事等7名 計15名
第2回	日時	令和6年12月12日	場所	名護特別支援学校会議室	出席 状況	評議員3名、校長、教頭、事務長 学部主事等7名 計14名
第3回	日時	令和7年2月20日	場所	名護特別支援学校会議室	出席 状況	評議員2名、校長、教頭、事務長 学部主事等7名 計13名

2 学校評議員に求めた事項

- (1)今年度の学校経営(概要)について
- (2)各学部・寄宿舍・支援部・進路指導部・環境整備部・保健室の取り組みについて
- (3)各学部授業、学校給食の試食(食育の取り組み等)
- (4)防犯、防災対策について
- (5)学校評価について
- (6)卒業生の進路状況について
- (7)創立50周年記念事業について

3 学校評議員の意見

- ・5月に学校説明会を開催され、学校の教育目標等を広く丁寧に説明をされている。
- ・保護者との連絡共有システム(デジタル連絡帳、バスロケーションシステム)の導入は保護者、学校の双方の負担軽減と効率化において良い取り組みである。
- ・一人ひとりに合わせた教育を実施。自立に向けて取り組んでいき社会参加を目指していく。私共も見習うべき教育目標だと感じた。
- ・小学部はマナーやルールについて、中学部は実習や体育関係について、高等部は今後の進路について等、各学部、生徒の力に合わせた取り組みがよくできている。
- ・総合避難訓練では、より実践的な訓練を工夫され、様々な専門機関と連携され必要な検討をされていた。
- ・コロナ禍を経験し健康や安全を考慮した取り組みができていると思います。
- ・校内の緑化に努め、いつも明るく花が咲きすばらしい。校舎内がきれいで気持ちよく学ぶことができる。
- ・卒業生の講話を開催され、一般就労している先輩から生の声を聴かせてもらうことは刺激になり、卒業後の生活をイメージできる一つのきっかけになりいい取り組みと感じた。
- ・地域との連携について、どのような内容で何を今後すべきかを知りたかった。

4 学校運営に反映した事項

- ・北部地区人権擁護委員の学校見学を実施し、北部圏域における障害福祉についての情報共有を図った。
- ・地域連携の一環として高等部生産物販売会を宇茂佐公民館で実施し、地域へのアピールを行った。
- ・防災・防犯などの安全教育の取り組みについて、地域人材を活用し、より実践的な内容で行うことができた。

5 課題その他

- ・次年度からはじまる「就労選択支援」の制度による学校現場の関わり方について外部機関との連携が必要である。
- ・創立50周年記念事業に向けて、PTA活動の活性化が必要である。